ふくい高校生県議会 質問原稿案（金津高校）

◯はじめに

税に興味を持ったきっかけは、最近、身近で少子高齢化問題をよく聞くようになっており、人口がこれからどんどん減少し続けると、税金による県の歳入も減少してしまいます。

調べてみたところ福井の人口は現在の約７５万人から、私達が社会人として働いている２０年後には約６０万人になるそうで、単純計算で歳入が約１，３８０億円減ることになります。このままでは、現在の福井県の体制を維持できなくなってしまうのではないか、もしくは、働く私達の世代が今よりより多くの税金を払うことになってしまうのではないかと不安に感じています。

また、都会は大企業や大学なども多く、公共施設や公共交通機関も発達していて非常に利便性が高く充実した生活を送ることができるため、多くの若者たちにとって魅力があると思います。そのため、更に人口が県外に流出し、税金による歳入も減るのではないか、これに対しても何かを考えないといけないのではないかと思い、税金や２０年後への対策について興味を持ちました。

【質 問】

１．　県の歳入について

１０年前と比較して、県の歳入と歳出の規模が大きくなっていることを知りました。歳入の内訳としては、県税や国からの地方交付税などがありますが、①これから人口の減少により、県税収入については減っていくのではないかと思いますが、１０年後、２０年後の福井県における歳入規模の見込みについて教えてください。

今後、人口減少により、個人県民税などによる収入は減ると思います。そのため、法人事業税などの増収に向けた対策が必要だと思い、観光誘客による経済活性化による税収増と企業誘致による税収増の２点について考えました。

まず、観光誘客による税収増について、３月に北陸新幹線が開業し、私達の高校の近くにも新幹線が停まるようになりました。芦原温泉駅前にはアフレアができ、福井駅周辺も開発され、とても賑やかになりました。開業から３月末までの来県者数が約３０％増、５月の連休中も来県者数が大幅に増加しているとのことですが、これが開業後の一過性のものではなく持続させることで、②観光客の方の県内での買い物などによる消費や宿泊が増え、経済の活性化により、税収の増加が見込まれると考えますが、どう思われますか。今後、観光事業に多くの予算を使うことは、税収の増加に効果的かどうか教えてください。

新幹線開業後の県内各地の集客の状況として、敦賀赤レンガ倉庫では、前年比４０．７％増。東尋坊は同２６．５％増。西山公園は同２６．０％増となっており、新幹線駅に近い赤レンガ倉庫が、観光客が最も増加していることを知りました。集客の伸びには交通利便性が大きく影響していると思われるので、③移動に手間や時間がかかる観光地や宿泊先には県が割引きを補助するなど、移動の不便さを補う仕組みが必要だと思いますがどうでしょうか。そうすることで新幹線が停まらない駅周辺も活気が出てくるはずです。

また、④観光客増加に貢献している各旅行会社に、ツアーなどの集客人数に比例して県から補助をしていただくと良いと思うのですが、この意見をどう思われますか。

次に、企業誘致による税収増について、例えば、福井にはショッピングモールといえばエルパしかなく、私達高校生が休日に買い物や遊びに行くとなるとエルパか福井駅前しかありません。このような状態では、⑤福井の高校生は、どんどん県外へ、特に新幹線も開通したこともあり、関東方面の都会に流出していくと考えられます。それを防ぐためにも、また、子育て世代にとっても魅力的な施設となるため、８号線沿いに、買い物や遊んだりできる大型の商業施設を誘致が必要と考えます。それが税収の増加につながると考えますが、どう思われますか。

２．　県の歳出について

県の支出項目の中には、子育てや福祉を充実させるための民生費、観光振興のための商工費、道路や河川を整備するための土木費がありますが、⑥１０年前と比較して、どの費目において支出が増えていますか。また、２０年後は、支出費目の内訳として、社会情勢の変化から、どの費目の割合が大きくなっていると見込まれますか。

将来に向け、費用対効果に注意し、できるだけ歳出を抑える予算の配分も重要だと思います。例えば、県民が日常的に使う施設を建設する場合などはなるべく費用をかけすぎないようにしてほしいと思います。

福井県はプロバスケットボールチームの活動拠点として、福井駅前にアリーナを建てるという計画を発表していますが、想定していた建設費は約６０億円でしたが、資材などの上昇により、約１０５億円まで増加しました。単純に計算すると、一世帯あたり３万程度の負担になります。このように、⑦アリーナ建設費が上昇し、県の歳出も増え、県民の負担も大きくなるが、アリーナの建設により、県内にどのような効果があると考えていますか。

また、⑧歳入のところでお話した遊ぶ場所として、大きな体育館は、お金をかけずに友達と遊んだり体を鍛えたりできる場所として、私達中高生にとってニーズが高いと思っています。アリーナの一部を定期的に中高生に開放してはどうかと考えますが、どう思われますか。

３．２０年後に向けた提案について

２０年後の２０４０年頃には、６５歳以上の人口はピークを迎える見込みです。働き手の不足を補いながら、低予算でも社会が効率的に機能するように、福井県でＡＩや自動運転を積極的に予算投資してはどうかと思います。

例えば、⑨高齢化率の上昇とともに、自分で運転ができない高齢者がどんどん増えるため、福井市やあわら市の中心部には自動運転専用のレーンを整備し、公共バスを走行させてほしいです。高齢者が利用する病院や商業施設のほかに保育園や学校、学習塾の近くなどを周ることで、子育て世代や私達中高生にとっても便利な交通手段の確保ができると思います。また、自動運転バスにＡＩによる見守り機能や分析機能を追加して、子どもだけが乗って塾や習い事に行けるようにしたり、水害時の市内の被害状況の確認もできるようにしたりすると、より人手をかけずに安心して生活できる社会をつくることにつながると思います。現在、県ではこのような、社会を効率的に機能させるための将来への投資についてどのような予算を考えていますか。